

28P-am483

薬剤師のキャリアアップテーマと情報リソースに関する実態調査

○森元 忠幸^{1,2}, 田原 由美子¹, 中本 賀寿夫², 藤田 和歌子², 徳山 尚吾²(¹ネグジット総研, ²神戸学院大薬)

【目的】薬剤師は日進月歩で変化する医療に的確に対応するために、生涯学習は必須となっている。今回、それらの一助として、今後の薬剤師の自己啓発および業務のレベルアップに必要な学習テーマとは何かについて明らかにすることを目的とした。さらにそれらを実践するために必要な情報リソースに関する調査も併せて行った。

【方法】アンケート対象者はネグジット総研の薬剤師インターネット調査会員4400名のうち、30代ならびに40代で、かつ業務経験10年以上の中堅クラス、あるいは管理者である薬剤師300名に対して、実態ならびに意識調査を実施した。調査期間は2009年11月6日～13日とし、本期間においてアンケートサイトを公開した。

【結果】今後取り組みたい自己啓発（キャリアアップ）として最も多かったものは「専門薬剤師資格の取得」（53%）であり、「経営マネジメント、店舗運営」（43.7%）が続いた。今後取り組みたい業務のレベルアップには「疾患に関する知識」（76.7%）が最も多く、「服薬指導スキル」（64%）が続いた。一方、情報リソースとしては、製薬企業の医薬情報担当者（MR）および各種ホームページからの情報、各種勉強会への参加などが挙げられた。また、各団体から発行される定期刊行物は、重要な情報入手ツールとなるとの回答もあった。

【考察】30、40代の薬剤師は日常業務以外に店舗運営、部下の育成、経営マネジメント等をこなす多忙なポジションであるとともに、スペシャリスト、あるいは経営幹部としてレベルアップしたいと考えていることが推察される。